

# 第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画



北九州市環境マスコットキャラクター  
©ていたん&ブラックていたん,北九州市

令和3年8月

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

北九州市



# ごあいさつ

## 北九州市長 北橋 健治



本市では、2011（平成23）年に策定した「北九州市循環型社会形成推進基本計画」において、従来の「循環型」の取組に「低炭素」と「自然共生」の取組を加え、持続可能な社会の実現に向けた先駆的な廃棄物行政の在り方を示し、ごみの減量化・資源化を進めてまいりました。

その結果、市民1人一日当たりの家庭ごみ量削減目標を3年間前倒しで達成するとともに、ごみの減量化が進んだことから廃棄物処理に伴って発生するCO<sub>2</sub>排出量も目標値より大幅に削減するなど、大きな成果が上がっています。これもひとえに、市民や事業者の皆さまが日頃より高い意識をもってごみの分別などに取り組んでいただいた結果であり、深く感謝申し上げます。

こうした本市の市民・事業者・地域団体・NPO、行政などが一体となった環境への取組は国内外で高い評価を受けており、2011（平成23）年に「環境未来都市」に選定されたほか、2018（平成30）年4月にOECD（経済協力開発機構）から、アジア地域で初めて「SDGs 推進に向けた世界のモデル都市」として選定されました。また、同年6月には、国から「SDGs 未来都市」及び「自治体SDGs モデル事業」にも選定されました。

一方で、近年では、プラスチックごみによる海洋汚染や食品ロス、地球温暖化の加速などの世界規模の課題が顕在化しているほか、新型コロナウイルスの感染拡大や大規模自然災害の頻発など、環境行政を取り巻く国内外の状況は大きく変化し、新たな対策が必要となっています。

このような状況を踏まえ、この度、これまでの取組の方向性は継承しつつ、SDGsの実現や脱炭素社会への貢献といった視点も新たに加えた「第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画」を策定いたしました。

持続可能な社会の実現は、地域社会全体で取り組むべき課題です。私たちは、日々の生活や活動を行う様々な場面で、環境に配慮した行動を主体的・協動的に行うことにより、環境負荷の抑制に努めなければなりません。今後とも、それぞれの立場からの主体的な取組をお願い申し上げます。

結びに、計画策定においてご審議いただいた「北九州市環境審議会」の皆様、そして意見募集で貴重なご意見をいただきました市民の皆様に心からお礼申し上げます。

令和3年8月



# 目次

<b>第1章 計画策定の趣旨等</b> .....	1
1 計画策定の趣旨.....	1
2 計画の位置づけ.....	2
3 計画期間.....	3
4 計画の対象.....	3
<b>第2章 現状と課題</b> .....	4
1 ごみ量の推移.....	4
2 ごみの組成.....	8
3 ごみ処理経費.....	9
4 前計画の進捗状況(2019(令和元)年度).....	10
5 将来のごみ量の見込み.....	12
6 今後の課題.....	13
<b>第3章 基本理念と目標</b> .....	16
1 基本理念.....	16
2 計画の視点.....	16
3 SDGs と本計画の関係性.....	17
4 計画目標.....	19
5 各主体に期待される役割と連携.....	24
<b>第4章 取組みの方向性</b> .....	25
1 3R の推進による最適な「地域循環共生圏」の構築.....	26
(1)家庭ごみの3Rの推進.....	28
(2)事業系ごみの3Rの推進.....	32
(3)プラスチックごみ対策.....	34
(4)食品ロスの削減(食品ロス削減推進計画).....	38
(5)ごみ処理施設の今後のあり方.....	46
(6)ごみ処理の広域連携.....	48
(7)災害廃棄物処理.....	49
(8)適正処理の推進と安全・安心の確保.....	50
(9)ごみ処理事業の効率化と市民サービスの向上.....	51
(10)産業廃棄物排出量の減量化・適正処理の推進.....	52
2 循環型社会形成に向けた地域全体の市民環境力の更なる発展.....	54
(1)環境教育・環境学習の推進.....	54
(2)環境を意識したライフスタイルの見直し.....	57
(3)地域コミュニティ・NPO・事業者の環境活動の推進.....	59
3 脱炭素社会、自然共生社会への貢献.....	60
(1)廃棄物処理における脱炭素社会への貢献.....	60
(2)自然共生の推進.....	62

(3)まち美化対策の推進.....	63
(4)海岸漂着物等の処理.....	64
(5)不法投棄防止対策.....	65
(6)生活排水の適正な処理.....	67
4 「地消・地循環」を目指した環境産業の創出と環境国際協力・ビジネスの推進.....	68
(1)リサイクルを軸とした環境産業の創出・育成・支援.....	68
(2)新たな技術や研究開発の推進.....	70
(3)産業振興と環境保全の好循環.....	70
(4)廃棄物の発生抑制(リデュース)に貢献する産業への支援.....	70
(5)研究機関の集積.....	70
(6)高度リサイクルの推進.....	70
(7)環境国際協力・環境国際ビジネスの促進.....	71
(8)事業活動における資源の循環利用の推進.....	73
<b>第5章 計画の推進.....</b>	<b>74</b>
1 計画の周知.....	74
2 計画の進捗及び成果の点検・評価.....	74
3 国の環境施策に関する動向の把握.....	74
4 計画の見直し.....	74
<b>資料編.....</b>	<b>75</b>
1 本市の廃棄物施策の変遷.....	77
2 北九州市における分別・リサイクルに関する基本的な考え方.....	77
3 これまでのごみ減量・リサイクルの主な取組み.....	78
4 一般廃棄物処理・生活排水処理の現状.....	79
5 産業廃棄物処理の現状.....	91
6 市民意識調査結果(市政評価と市政要望)【一部抜粋】.....	95
7 行政評価に係る市民アンケート調査結果【一部抜粋】.....	96
8 家庭ごみの資源化・減量化に関するアンケート調査結果.....	97
9 事業系ごみ排出実態調査結果【一部抜粋】.....	104
10 第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画の策定審議経過.....	108
11 根拠法令.....	111